4 健康経営

健康保持・増進に向けた取り組み

多様な人材の能力が安定かつ持続的に発揮できるよう、社員の健康保持・増進を通じて「社員の幸せ」「生産性の向上」「企業価値の向上」「企業の永続的発展」を支えるウェルビーイングな職場づくりの実現に向け、全社一丸となって取り組んでいます。
2023年度から、経済産業省の「健康経営優良法人（大規模法人部門）」の認定を受けております。メンタルヘルスに関しては、社員の研修等を通じたセルフ確認、及び全管理者がメンタルヘルスマネジメント検定（Ⅱ種）を受検しラインケアの強化を図っております。また、ウォーキングイベントを実施する等、これら具体的な施策を通じて健康経営を実践しております。

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

社員向けの健康イベント

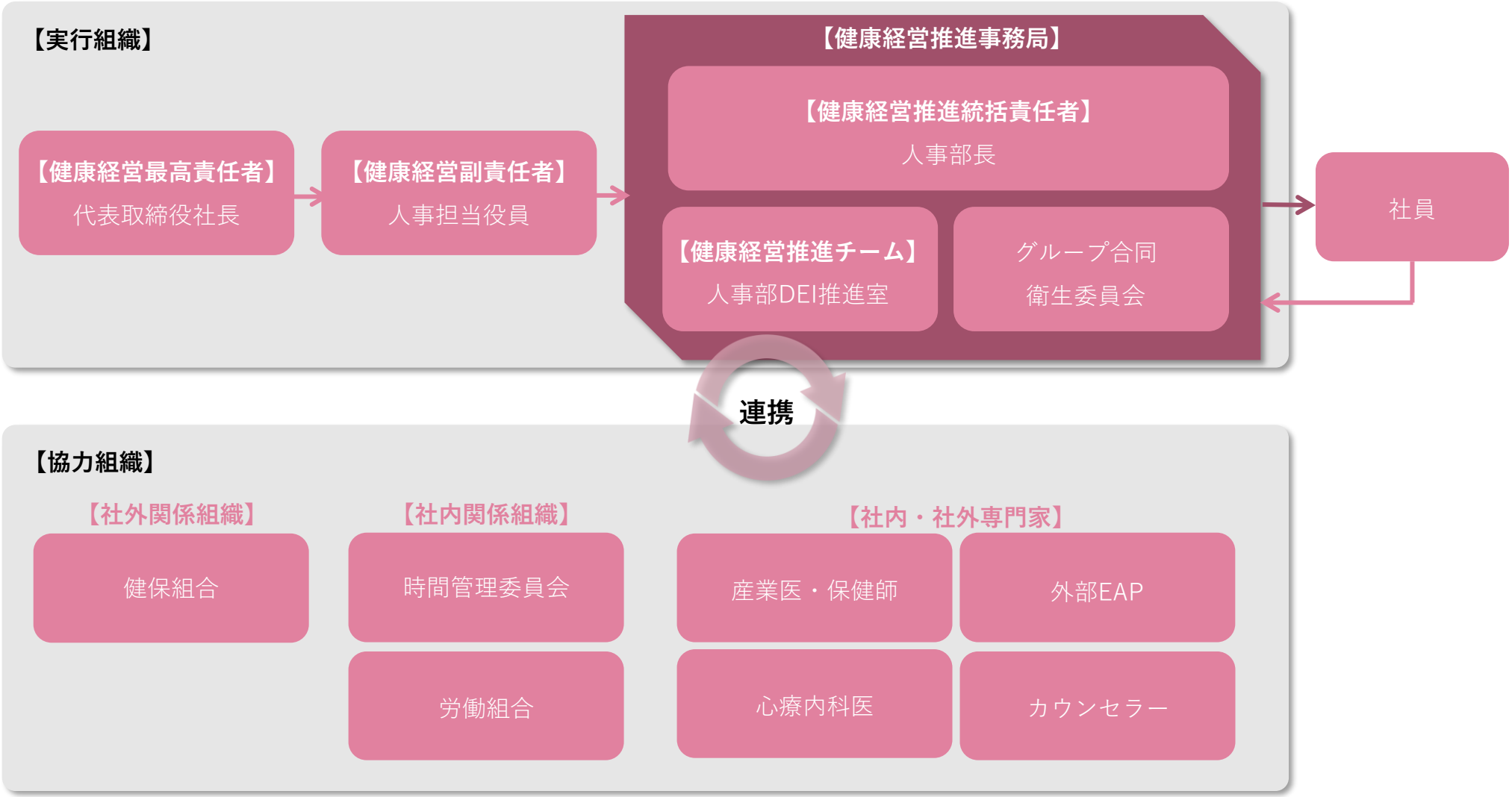
●イベントアーカイブはこちら　https://www.chuo-nittochi.co.jp/sustainability/pdf/sustainability_event.pdf

健康経営宣言

「人と社会に安心と感動を。ともに考え、ともに創り、ともに未来へ。」
この使命を果たすためには、
全ての社員とその家族が身体的・精神的・社会的にも満たされた状態、
すなわちウェルビーイングであることが何よりも大切だと考えます。
そのために中央日本土地建物グループは、社員に様々な情報や教育の場、ツールを提供することで
社員の健康保持・増進を支え続け、全ての社員が活き活きと働くことができる
魅力的な職場づくりに取り組んでいくことを宣言いたします。

部署対抗ウォーキングイベント

4 健康経営｜体制図


【実行組織】
【健康経営最高責任者】
代表取締役社長
【健康経営副責任者】
人事担当役員
【健康経営推進事務局】
【健康経営推進統括責任者】
人事部長
【健康経営推進チーム】
人事部DEI推進室
グループ合同
衛生委員会
社員
連携
【協力組織】
【社外関係組織】
健保組合
【社内関係組織】
時間管理委員会
労働組合
【社内・社外専門家】
産業医・保健師
外部EAP
心療内科医
カウンセラー

4 健康経営｜戦略マップ

健康投資

- 食生活改善のサポート
- 教育・研修機会の提供
- 衛生委員会機能拡充等社内体制整備
- 健康診断、ストレスチェック、各種補助制度
- 健康保持、増進及びメンタルヘルスに関する情報の発信
- 両立支援体制の整備

従業員の健康課題

ヘルスリテラシーUP・生活習慣の改善
仕事と治療・育児・介護との両立
健康課題を気軽に相談できる組織環境

健康投資の効果

健康投資施策の取組み状況に関する指標	従業員等の意識変容・行動変容に関する指標	健康関連の最終的な目標指標
各種健康教育受講率	喫煙率	アブセンティーズムの改善
健康アプリ登録者数	バランスの良い食生活をする者の割合	プレゼンティーイズムの改善
1,2次予防の情報発信回数	適切な睡眠をとっている者の割合	ワークエンゲージメントの向上
イベント参加延べ人数	運動習慣比率	生活の満足度
各種両立支援制度認知率	健康関連補助制度利用率	

健康風土の醸成

健康経営の浸透状況	方針実現のための体制・環境	サポート、組織的支援（POS）、WSC等
健康経営に対する認知度・理解度・満足度	健康経営推進責任者の設置 統括組織設置 優良法人の認定	上司からのサポート 同僚からのサポート

目標年：2030年

KGI

- ◆健康通信簿総合得点5％アップ
- ◆健康に関する教育時間1.5倍増
- ◆男性育児休暇平均取得日数1.3倍増

健康経営の目標

- ◆従業員一人ひとりのヘルスリテラシーの向上
- ◆ラインケア対応力の強化
- ◆仕事と治療・育児・介護の両立へ向けた支援体制の構築

健康経営の推進方針

全ての社員が活き活きと働くことができる魅力的な職場づくりを構築する

経営方針

人と社会に安心と感動を。
ともに考え、ともに創り、ともに未来へ。

4 健康経営｜数値目標

数値目標（KGI）	対2025年度比	【実績】2024年度	【実績】2025年度
健康通信簿総合得点	5%アップ	51点	55点
男性育休平均取得日数	1.3倍増	23.7日	23.3日
健康教育時間	1.5倍増	36分	62分

数値目標（KPI）	【目標】2026年度	【実績】2024年度	【実績】2025年度
定期健康診断受診率	100%	100%	100%
再検査受診率	80%以上	89.6%	85.2%
ストレスチェック受検率（3年平均）	97%以上	99.1%	100.0%
年次休暇取得率	70%以上	80.0%	78.4%
入社3年以内離職率（新卒＋キャリア採用）	10%以内	9.6%	10.0%
アブセンティイーズム：病欠日数※１	2.6日以内	2.3日	2.5日
プレゼンティーイズム：仕事の出来※２	85%以上	86.0%	85.5%
ワークエンゲージメント：活力・熱意※３	2.5点以上	2.7点	2.7点

※１）昨年1年間に社員自身の病気によって休んだ日数
※２）病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の社員自身の仕事の評価（東大１項目版にて測定）
※３）新職業性ストレス調査票における得点算出法『仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる』と『自分の仕事に誇りを感じる』の平均値
※１・２・３）測定人数および回答率（測定人数943人　回答率100%）

4 健康経営｜数値目標

指標数値（その他）	【実績】2024年度	【実績】2025年度
施策の参加状況	78.4％	75.9％
平均月間法定外労働時間	5時間35分	6時間17分
精密検査受診率	59.0%	54.5％
運動習慣者比率	47.4％	47.5%
喫煙率	18.2％	17.5％
高ストレス者率	6.2％	5.5％
労災発生件数	1件	2件

4 健康経営｜2025年度の取り組み状況

実施施策

● **社内禁煙月間の制定**	世界禁煙デーに合わせて毎年５月を禁煙月間といたしました。衛生委員会メンバーと共に社内施策を協議し、健康と職場環境について考える機会として全社員を対象とした研修を実施しました。
● **ヨガと朝食習慣向上イベントの開催**	各拠点と本社をリモートでつなぎ、運動と食事を組み合わせた社内イベントを開催しました。デスクで簡単にできるヨガをテーマにみんなで運動し、運動後には講師から朝食の重要性を講義いただきました。
● **社員の健康増進のための啓蒙活動**	2025年度はストレスチェック等の調査を分析し、社員の生活に対する意識を向上すべく、役員を含め全役職員を対象とし上期は禁煙について、下期は女性の健康に加え、歯と食事について研修を実施いたしました。 上記セミナーの参加者はいずれも対象役職員の9割を超え、役職員の健康に対する関心度の高さを示しており、役職員全体の健康増進に対する理解を深めています。
● **メンタルヘルスニュースの発信**	月1回、メンタルヘルスに関するコラムを社内掲示し、メンタルヘルスに対する正しい理解の習得に努めています。
● **社内健康相談窓口利用促進のための発信**	月2回、健康相談窓口に関する案内を社内掲示し、また、セミナー等のイベント開催時にも周知することにより、誰でも気軽に健康相談が受けられるよう努めています。
● **インフルエンザ予防接種**	2025年10～11月にかけて東京本社、関西支社において、希望者全員に対し接種費用を会社負担とするインフルエンザ予防接種を実施いたしました。
● **メンタルヘルスマネジメント検定取得推進**	全社員を対象とした当社の資格取得支援制度の補助対象とし、会社全体でメンタルヘルスの正しい知識と対処方法への理解を深めています。また、管理職以上についてはメンタルヘルスマネジメント検定Ⅱ種（ラインケアコース）の受験を推進し受験率は９割を超えました。